

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和2年2月27日

事業所名 キノコにじいろクラブ

保護者等数(児童数) 26 回収数 16 割合 61.5 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15			1		移転後は、よりダイナミックに動けるスペースを確保しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	2		2	個別プログラムでは適切だと思う/送迎が充実されるとより良い	地域のニーズに合わせ、専門性を生かした事業所運営を進めてまいります。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	1		3		子ども達にとって快適な環境を整えていきます。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13	3				面談時の利用児や保護者のニーズを取り入れながら、作成を行っています。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14	1	1			子ども達の主体性を大切にしながらそれぞれの課題を組み込むようにしています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	2	1	5 (無回答1名)		保育所等訪問を通して交流を促進する支援を行っています。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1	2			今後もわかりやすく、丁寧な説明を心掛けます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	2	1			連絡帳だけでなく、送迎時、パトレ時に直接お話をしたり、SNSで手軽に情報交換を行えます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1	1			今後は別宅を活用し、落ち着いた空間で相談ができるようになります。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14		1	1		今年度からお茶会やマルシェ等、少しずつ保護者間での交流をスタートしています。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11		1	4		電話や直接の相談に加え、SNSや入り口の苦情解決箱にて、いつでも受け付けております。最終的には管理者が対応いたします。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	2				送迎時や連絡帳、事業所LINEを通じ、情報を伝達していきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	1	1		お便りに講習や先生の紹介がありわかりやすい	活動や行事等については、月日より、入り口掲示、ホームページ、事業所LINEのタイムライン、Facebookにて発信しています。
	14	個人情報に十分注意しているか	15			1		今後も個人情報の対応には十分に注意します。
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	1		2	多分できていると思う	訓練の実施状況については月日より保護者説明会でお伝えしています。マニュアルについては入り口に設置しております。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	1		3	訓練に参加していないためわからない	保護者説明会で避難訓練の実施報告と次年度の予定を周知します。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	14	2			毎回、とても楽しみにしています	また行きたいな！と思える事業所作りに努めます。
	18	事業所の支援に満足しているか	13	2	1		いつも楽しみながら通わせてもらっています/子どものことをしっかり見て接してくれている	今後も質の高い支援を提供できるよう職員一同研鑽してまいります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。